

2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東  
 コード番号 8254 URL <https://www.saikaya.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山野井 輝夫  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 (氏名) 中野 宏治 (TEL) 046 (845) 6803  
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	1,191	△3.6	△66	—	△71	—	△73	—
2022年8月期第1四半期	1,236	—	20	—	14	—	12	—

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 △72百万円(—%) 2022年8月期第1四半期 37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	△14.83	—
2022年8月期第1四半期	2.59	1.99

(注) 1. お歳暮などを始め今四半期中に受注が確定したものの、12月度の計上となる売上高が193百万円、営業利益、経常利益ともに46百万円あります。

2. 当第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

3. 当社は、2022年5月24日開催の第90回定時株主総会の決議により、決算期を2月末日から8月末日に変更いたしました。対前年同四半期比については、2022年8月期第1四半期(2022年3月1日から2022年5月31日)と2023年8月期第1四半期(2022年9月1日から2022年11月30日)となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	12,219	536	4.3
2022年8月期	12,178	608	5.0

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 536百万円 2022年8月期 608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,537	—	32	—	18	—	16	—	3.23
通期	5,061	—	63	—	36	—	32	—	6.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2022年5月24日開催の第90回定時株主総会の決議により、決算期を2月末日から8月末日に変更いたしました。このため対前期増減率は記載しておりません。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

会計方針の変更に関する注記

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期1Q	4,970,314株	2022年8月期	4,970,314株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年8月期1Q	15,992株	2022年8月期	15,969株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期1Q	4,954,330株	2022年8月期1Q	4,954,367株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8
4. 補足情報	9
(1) 連結売上高の内訳	9
(2) 店別売上高(単体)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2022年5月24日に開催の第90期定時株主総会において決算期の変更に関する定款変更議案が決議されたことに伴い、第91期より、決算期を2月末日から8月末日に変更いたしました。経営成績における対前年同四半期比については、2022年8月期第1四半期（2022年3月1日から2022年5月31日）と2023年8月期第1四半期（2022年9月1日から2022年11月30日）で異なりますが、参考数値として記載しております。

当社の営業面では、10月20日に創業150年を迎えるにあたり9月・10月におこなった「創業150年記念感謝還元祭」の好評に加え、「創業150周年記念特別企画」として、10月に「山本譲二プレミアムランチ&ディナーショー」を鎌倉プリンスホテルで開催し、多くのお客様にご好評をいただきました。さらに、横須賀店で「テディベアと仲間たち展（10月）」、藤沢店で「香川の物産展（11月）」を初開催するなど様々な施策を打ち出しました。また、健康食品の通販広告を神奈川新聞に掲載する等、グループのシナジー効果を活用した取組みを実施いたしました。

その結果、2023年8月期第1四半期の受注確定ベースの売上高は前年実績を上回りました。（なお、お歳暮などを始め今四半期中に受注が確定したものの商品到着日ベースで12月度の計上となる売上高が193百万円、営業利益、経常利益ともに46百万円あります。）

また、2022年3月から強化しております金・地金買取も依然ご好評いただいております、手数料収入の増加に寄与しております。

経費面では、前年に引き続きおこなっているローコストオペレーション推進による各種経費の削減に加え、商品券支払保証料、役員人件費の削減を実施いたしております。しかしながら、燃料価格の高騰や為替変動による想定以上の水道光熱費の高騰などにより、販売費及び一般管理費が前年実績を上回る結果となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,191百万円（前年同四半期は1,236百万円）、営業損失66百万円（前年同四半期は営業利益20百万円）、経常損失71百万円（前年同四半期は経常利益14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益12百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については12,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加しました。負債については、前連結会計年度末に比べ113百万円増加して11,683百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ72百万円減少して536百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月14日付の2022年8月期決算短信で発表いたしました2023年8月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,556,825	1,542,896
売掛金	412,673	413,952
商品	459,873	474,546
貯蔵品	44,383	45,138
その他	179,623	283,735
流動資産合計	2,653,380	2,760,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,805,789	2,726,418
土地	4,563,475	4,563,475
リース資産(純額)	10,693	9,826
その他(純額)	29,672	29,139
有形固定資産合計	7,409,630	7,328,859
無形固定資産		
その他	14,675	14,442
無形固定資産合計	14,675	14,442
投資その他の資産		
投資有価証券	270,486	271,711
長期貸付金	3,000	3,000
敷金及び保証金	1,452,404	1,443,063
破産更生債権等	12,512	12,492
長期前払費用	312,812	336,186
その他	62,175	62,175
貸倒引当金	△12,460	△12,450
投資その他の資産合計	2,100,930	2,116,178
固定資産合計	9,525,235	9,459,480
資産合計	12,178,616	12,219,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	19,108	27,832
買掛金	1,047,452	1,150,531
未払法人税等	12,173	6,513
契約負債	952,203	949,212
賞与引当金	13,412	13,571
その他	337,685	347,853
流動負債合計	2,382,036	2,495,516
固定負債		
長期借入金	8,655,000	8,655,000
退職給付に係る負債	298,569	298,635
資産除去債務	165,430	166,237
リース債務	7,947	6,993
その他	61,220	61,220
固定負債合計	9,188,167	9,188,087
負債合計	11,570,203	11,683,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	2,195,768
資本剰余金	1,887,556	1,887,556
利益剰余金	△3,420,008	△3,493,491
自己株式	△43,251	△43,258
株主資本合計	620,064	546,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,651	△10,426
その他の包括利益累計額合計	△11,651	△10,426
純資産合計	608,412	536,147
負債純資産合計	12,178,616	12,219,750

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	1,236,752	1,191,145
売上原価	477,129	436,538
売上総利益	759,623	754,606
販売費及び一般管理費	739,475	820,710
営業利益又は営業損失(△)	20,147	△66,104
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	861
受取手数料	494	225
その他	511	258
営業外収益合計	1,025	1,345
営業外費用		
支払利息	6,648	6,672
その他	220	30
営業外費用合計	6,869	6,703
経常利益又は経常損失(△)	14,303	△71,461
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,303	△71,461
法人税、住民税及び事業税	1,490	2,021
法人税等合計	1,490	2,021
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,813	△73,482
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	12,813	△73,482

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,813	△73,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,614	1,225
その他の包括利益合計	24,614	1,225
四半期包括利益	37,427	△72,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,427	△72,257
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

前会計期間の決算日において、引き続き営業利益以下赤字の状況が続いていることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況が存在しております。

しかしながら、2023年8月期第1四半期は、前年の営業赤字125百万円（着荷基準適用前営業赤字78百万円）から、59百万円改善、66百万円（着荷基準適用前20百万円）まで縮小しました。改善要因としては、売上高が対前年に比べ1%強の伸びを維持していること、取引条件改定やコストの低減により収益率が改善していることなどがあげられます。資金面においても、一昨年5月に実施した増資および同6月に実施した既存金融機関から株式会社AFC-HDアムスライフサイエンスへの借入金借換により調達した資金にて十分な流動性を確保しております。現在の売上の状況、改善傾向にある収益構造などから、今後1年間の資金繰り見通しについても安定して推移することが見込まれ、引き続き財務基盤は安定しているものと判断しております。

以上より前連結会計年度と同様、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結売上高の内訳

	前第1四半期 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	1,234,571	94.8	1,190,404	86.9	△44,167	96.4
アルファトレンド㈱	66,878	5.1	179,576	13.1	112,697	268.5
㈱さいか屋友の会	758	0.1	497	0.0	△261	65.6
小計	1,302,209	100.0	1,370,478	100.0	68,269	105.2
内部売上高の消去	△65,456	—	△179,333	—	△113,876	274.0
合計	1,236,752	—	1,191,145	—	△45,607	96.3

## (2) 店別売上高(単体)

	前第1四半期 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	581,302	54.5	582,809	57.8	1,507	100.3
横須賀店	287,931	27.0	282,671	28.0	△5,260	98.2
川崎店	191,171	18.5	143,250	14.2	△47,921	74.9
小計	1,066,133	100.0	1,008,731	100.0	△57,402	94.6
テナント及び手数料収入	168,438	—	181,672	—	13,234	107.9
合計	1,234,571	—	1,190,404	—	△44,167	96.4